

## 2018年度 放課後等デイサービス事業の自己評価結果表

事業所名：ひまわり園

(2018年12月1日現在)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	現在の取組内容・今後の改善目標等
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			旧保育園の設備・敷地なのでスペースはかなり広く、運動するの により環境となっています。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		法令で定められた基準を満たしており、有資格者が配置されてい ます。
	3	事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝 達等への配慮が適切になされているか			○	バリアフリー化されたトイレなど車いす等も出入りできます。また、 整理整頓を心掛け、日々の支援に支障がないようにしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目 標設定と振り返り）に、広く職員が参画してい るか	○			職員間のミーティング、定期的な会議等で課題検討等により、随 時意見交換を行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把 握し、業務改善につなげているか	○			日々の情報交換やアンケート調査の実施により、サービスの質の 向上に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホー ムページ等で公開しているか	○			今後ホームページ等で公開予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業 務改善につなげているか		○		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保しているか	○			他事業所見学や外部研修に参加する機会を設けています。
適切な支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニ ーズや課題を客観的に分析した上で、放課後 等デイサービス計画を作成しているか	○			関係諸機関、相談支援専門員等からの情報、家族の面談か ら、基本情報とアセスメントシート、発達障害特性シートなどを作 成した上で計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用しているか		○		・関係機関・相談支援専門員等からの情報、家族の面談から 「基本情報、アセスメントシート、発達障害特性シート等」を作 成し、適切なアセスメントとなるよう取り組んでいます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・定期的にまた必要に応じてミーティングを行い立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫してい るか	○			・学校休日の開所日はメインのグループ活動を留意し、内容を予 定表で周知しています。 ・子ども達が楽しめる活動を考え、子ども達からも意見を取り入れ ています。
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計 画を作成しているか	○			必要に応じて個別支援計画で学習、遊びの位置づけを明示して います。
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、そ の日行われる支援の内容や役割分担について 確認しているか	○			毎日のミーティングで、前回の振り返りを実施し、当日の支援分 担を決めています。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、気付い た点等を共有しているか	○			振り返りを行い、情報を共有しています。
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹 底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別支援記録を記入し、支援の検証・改善の際に活用していま す。
	17	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサ ービス計画の見直しの必要性を判断してい るか	○			関係機関、関係者参加により定期的にモニタリングを行っていま す。また、必要に応じて見直しを行っています。
	18	障害児相談支援事業所のサービス担当者会 議にその子どもの状況に精通した最もふさわし い者が参画しているか	○			
	19	学校との情報共有（年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡 調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡）を適切に行っているか	○			・学校とは、送迎時に情報交換・共有を行っています。 ・緊急時等については、連絡の取れる体制を整えています。
	20	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えてい るか		○		現在、医療的ケアの必要なお子さんは通われていませんが、今 後、希望に応じて受入れ体制の整備をしていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	現在の取組内容・今後の改善目標等
関係機関や保護者との連携	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・情報共有について努めています。 ・相談支援専門員等からの情報などで理解しています。
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		・情報は供でできるように努めています。
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		・外部機関が主催する研修等に参加するよう努めています。
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・地域児童館等との見学や交流を検討しています。
	25	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○			自立支援協議会の部会に参加している。また、内容については職員に周知しています。
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎や出迎え時や連絡帳により、その日の様子などについて情報共有や共通理解に努めています。
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			療育コーディネーターによるペアレントトレーニング研修会の機会を設けています。
保護者への説明責任等	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		利用契約の際に運営規程、利用者負担等について説明をしています。また、必要事項を記載し、園内に掲示しています。
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		相談があれば、改めて時間を設ける等その都度対応しています。
	30	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者が気軽に参加出来る機会を検討していきます。
	31	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		苦情受付担当者、苦情解決責任者等の体制を整備し、迅速かつ適切に対応できるようにしています。
	32	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月一回、通信や会報(一葉ニュース)を発信しています。
	33	個人情報に十分注意しているか	○			利用契約の際に個人情報の取り扱いについて書面で説明しています。
	34	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			グループ向けの掲示方法を用意しています。また、必要に応じて個別の情報伝達方法を用意しています。
	35	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		園内でボランティア活動をする場面を設けるなど、機会を捉えて地域住民の方と交流できる場面を設けています。
非常時等の対応	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		マニュアルは策定されていますが、保護者への周知については課題があるので、検討していきます。
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回訓練を実施しています。
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			当該研修などに参加し、職員への周知を行っています。
	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		・身体拘束は行っていません。
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		・調査票で食物アレルギーの有無について確認しています。
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハット事例の記録を残し、職員会議で情報共有や対策等を検討しています。